

# 年間授業計画【新様式】

## 高等学校令和5年度（2学年用）教科 家庭 科目 家庭基礎

教科： 家庭 科目： 家庭基礎 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年

教科担当者： 松山 英美

使用教科書：（「家庭基礎 気づく力 築く未来」（実教出版））

教科 家庭 の目標：

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 家庭基礎 の目標：

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の生活の充実に資する実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	これからの人生について考えてみよう 自分の未来予想図を描こう これからの人生をデザインする 自分らしい生き方と家族	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯発達</li> <li>成年年齢</li> <li>ライフイベント</li> <li>ライフステージ</li> <li>自立と共生</li> <li>ライフキャリア</li> <li>共に生きる家族</li> <li>家族に関する法律</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> 生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識を理解し、それらに係る技能を身に付けている。	○	○	○	11
	中間考査			○	○		1
	子どもとかかわる 高齢者とかかわる	<ul style="list-style-type: none"> <li>育児性</li> <li>青年期の健康</li> <li>アタッチメント</li> <li>子供の生活習慣</li> <li>遊びの機能</li> <li>児童虐待</li> <li>老化</li> <li>認知症</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> 生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識を理解し、それらに係る技能を身に付けている。	○	○	○	11
	期末考査			○	○		1

